

研究主題

9年間の学びをつなぐ教育の創造

～自己の生き方についての考えを深める道徳科の授業の工夫～

「教材との出会い」

問題意識をもって

「友達の多様な
考えとの出会い」

多面的・多角的に考えて

「新たな自分との
出会い」

自己を見つめて

自己の生き方
についての考えを
深める



玉陵小学校のオリジナルゆるキャラ。
虹色に輝く玉ちゃん、いつも本を持ち歩いてる
ペン先の陵くん、玉ちゃんと陵くんが合体し
た玉陵レインボーです。



は じ め に

平成30・31年度（2019年度）文部科学省指定 道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業及び熊本県教育委員会・玉名市教育委員会指定 道徳教育研究推進校事業の研究発表会の開催に当たり一言ごあいさつ申し上げます。

さて、本校は、平成30年4月、玉陵校区の6小学校が統合して開校した小中施設一体型の学校です。「特別の教科 道徳」の実践に当たり、統合前より児童・保護者・地域の実態から、本校の重点指導事項を掲げ、本研究主題を設定し全職員で取り組んで参りました。

本日で参会の皆様から多くのご意見ご示唆をいただき、本校の研究、道徳科の授業及び

道徳教育のさらなる充実に向けて生かしていきたいと考えております。

最後になりましたが、本研究大会にご多用な中で参会くださった皆様に、心より感謝申し上げます。また、本日で指導いただきます浅見哲也文部科学省教科調査官はじめ、熊本県教育委員会、玉名市教育委員会、並びに各部会の助言者の先生方等、本校研究の推進に関わっていただきました皆様にお礼申し上げます。また、ご参会の皆様の今後のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

令和元年 11 月 1 日

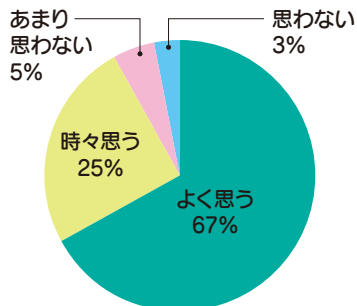
玉名市立玉陵小学校 校長 岡村 千鶴



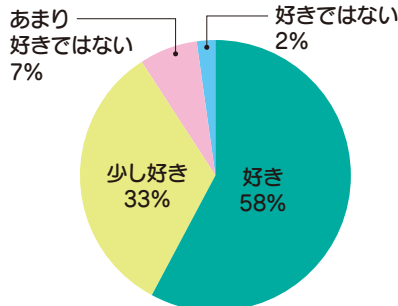
道徳科の学習に関するアンケートの結果より

（令和元年7月実施 対象：全児童）

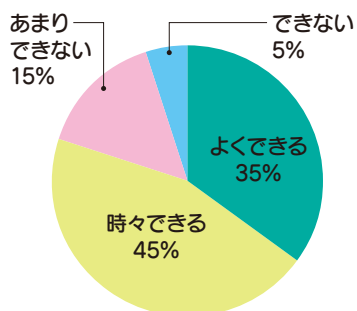
①心の成長のためになると思うか



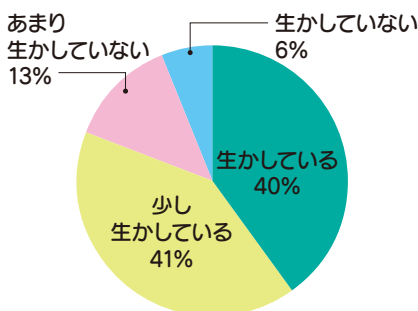
②道徳科の学習は好き



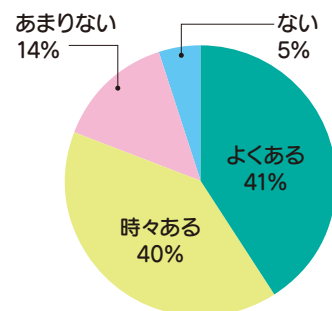
③自分の思いや考えを発言できているか



④自分の生活に生かしている



⑤自分の考えを友達に受け入れてもらった



7月に全児童を対象に道徳に関するアンケートを行った。その結果、昨年度から研究を続けた成果からと考えられるものが、①と②である。児童の多くが、①「道徳は心の成長のため」になり、②「道徳の学習が好き」と捉えていることが分かる。課題としては、③「自分の思いや考えを発言すること」、④「道徳の時間に学んだことを自分の生活に生かしている」、⑤「自分の考えを友達に受け入れてもらうこと」

である。自分の思いを伝え、学んだことを生かすことが十分でないことが分かる。

本年度は、アンケートの結果を受けて思いや考えを伝え合い、多面的、多角的な見方や考え方ができる学習展開を工夫し、自己の生き方についての考えを深められるようにしていくことが大切であると考え、実践してきた。

3つの出会いを大切にした授業づくり

第6学年 主題名 男女ともしんらいして（B-(10)「友情、信頼」）

教材名 言葉のおくり物（出典「生きる力」小学校6年:日本文教出版）

過程	学習活動と発問	児童の反応
ぎ つか む	1. めあてをつかむ。 ・男女とも信頼して生活するにはどんなことに気を付けたいと思いますか。	・分かれて活動しない。 ・しゃべる。 ・みんなで遊ぶ。
よく 考 え る	2. 教材文を読み、一郎の状況と意思をつかむ。 ・一郎は怒った時どんなことを考えていたでしょうか。 ・たかしをかばい続けるすみ子を見て、一郎はどんなことを考えていたでしょうか。 ◎教室のあちこちから拍手が起った時、一郎はどんなことを考えていたでしょうか。	・また冷やかされる。 ・本当は仲よくしたい。 ・なんでかばうの。 ・許せるなんて優しい。 ・誰にでも優しい。
りよ 深 め る	3. 男女仲よく信頼して生活するにはどんな心構えや言動が必要なのか話し合う。 ・どんなことに気を付けていけばよいでしょうか。	・うれしい。 ・冷やかされずにすむ。 ・自分も温かい言葉を。 ・冷やかされても気にしなければ良かった。 ・怒って恥ずかしい。 ・ひどいこと言ってごめん。
う ふ り 返 る	4. 学習をふり返る。 ・気付いたことや考えたことを書きましょう。	・なかよし宣言を守る。 ・クラスの3つの約束を守る。 ・いっしょに遊ぶ。 ・人のいいところに気付いていけるようになれば、こんな関係になれると思った。 ・みんなに公平に接するといひ。

「教材との出会い」の工夫

日頃の生活や体験活動を想起させたり、アンケート結果を活用したりして、本時の主題を身近な問題として捉えさせる。



「教材との出会い」の工夫

朗読CDを流している間に登場人物の言動を黒板に整理し、登場人物同士の関係性やそれぞれの考えを捉えやすくする。



「友達の多様な考えとの出会い」の工夫

補助発問やゆさぶり、問い返し、意図的指名により、様々な視点から多面的・多角的に道徳的価値について考えられるようにする。

構造的な板書を心がけ、見えない心の可視化を図る。



「新たな自分との出会い」の工夫

友達の多様な考えに触れることにより、気付いたり深まったりした考えや今までになかった自分の考えを書くことで、これからの自分の生き方への課題や展望がもてるような場を設定する。

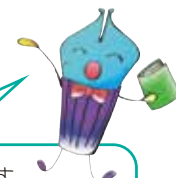


授業づくりの実践

授業づくりのポイントを示した「秘伝の書」の活用

授業づくり秘伝の書

- 一、道徳的価値についての考えをもつべし
- 一、児童の実態を把握すべし
- 一、終末における児童のゴールの姿をイメージすべし
- 一、教材との出会いを工夫すべし
- 一、友達の多様な考えとの出会いを工夫すべし
- 一、新たな自分との出会いを工夫すべし
- 一、指導と評価の一体化を図るべし



「秘伝の書」をもとに授業づくりを行います。

まず、学習指導要領解説「特別の教科 道徳編」を熟読し、道徳的価値に対する教師の理解を深め、児童の実態を把握します。次に、学習後の児童の姿をイメージしながら、本時のねらいと評価の視点を明確にします。そして、3つの出会いを意識した授業の展開を考えます。最後に、適切な評価を行います。

道徳的価値についての考えをもつべし

道徳的価値についての考えをはっきりさせる。
(第2学年 内容項目C-(10)例)

- 学校** 児童にとっての身近な社会
家とは違う、自分の思いが通らないこともある
- きまり** 個人や集団が安全にかつ安心して生活できるようにするためにあるもの
よりよい人間関係づくりにも重要

自分も含めたみんなが、気持ちよく安心して過ごすためにあることを理解し、しっかりときまりを守ろうとする意欲や態度を育てる

授業づくり時に記入した「秘伝の書」の一部

見えない心を可視化する板書の工夫



第3学年「うまくなりたいけれど」の板書

「自分の考えは全体のどこに位置付くのか」「自分の考えと友達の考えは何が違うのか」「自分の考えと友達の考えはどのくらい違うのか」ということが分かるように、黒板に整理し、児童の考えを深めていきます。

心情曲線や思考ツール等を活用することで、登場人物の心情を理解したり、自分との関わりで考えたりすることができるようになります。



学習の足あと



1年生



4年生



5年生



学年掲示

学習したことを、コミュニティボードにまとめたり、各学年の「道徳コーナー」に掲示したりします。学習の様子をふり返ることを通して、道徳的価値について再度考えたり、自分の考えを見つめ直したりすることができるようにしています。



家庭との連携

道徳の学習後、教材と道徳ノートを持ち帰り、児童が保護者に感想を話し、保護者から感想をいただきます。保護者が学習内容や児童の考えを知る機会となっています。



「男の子同士、女の子同士、特に友達のことを気にしてしまいがちですが、自分自身も何を言われても平気だと思える強い心をもって相手の良いところを素直に認め合える関係になってほしいと思います。」

6年「言葉のおくり物」時の保護者感想より



视点 2

授業に対する評価と児童に対する評価

①教材（道徳的価値）との出会い

- アンケートを活用したり、3人の関係を図で示したりすることは、児童が教材に引き込まれ、内容をとらえやすくするのに効果的だった。

②友だちの多様な考えとの出会い

- 児童の考えをキーワードでまとめたり分類したり、生活と結びつくような問い返しをしたりすることは、友だちの多様な考えに出会うのに効果的だった。

③新たな自分との出会い

- 子供たちの写真を見せたり、違う立場の人の考えに出会うことで、一面的な判断から、多面的な判断があることに気づき、自己の生き方についての考えを深めることに効果があった。

振り返りシートの一部（４段階評価）

月	教材名	内容項目	ねらい	教材	多様な 考え	新たな 見方	備考
	1 スポーツ の力	D よりよく生き る喜び	保護者さんが、定規を振り 越え目標をもちながら生きる 姿を通して、よりよく生きよ うとすることのすばらしさを 理解し、自らも苦難を乗り越え 、人間としてよりよく生き ていこうとする心構を育て	○	◎	△	ふり返りの時間を 保障できず。 前半部分を時間を がけすぎた。
4 月	2 命のアサ ガオ	D 生命の尊き	限られた生命を力の限り生き 抜こうとした光祐くんや、そ の思いを受け継ぎたいとアサ ガオを育てたお母さんの思い から、輝かれた生命を誰一人 きることの意味を通して、 生命を大切にしようとする心 構を育てる。	○	○	◎	母の思いから、「せ いじっぱ生きたら というキーワード を出し、それにつ いて考えさせるこ とができた。
	3 ほんとう のことだ けど……	A 善悪の判断、 自律、自由と 責任	一度考えてみようよ、と 言ったみえ子さんの思いを考 えることを通して、自由に許 されることと許されないこと があることを理解し、自律的 な行動をしようとする心構を育	◎	◎	◎	板書の工夫が思考 の可視化につなが り、自由と責任の 関係も分かり、自 分のこととしてと らえられていた。

自己評価表の一部

7	児童名	じ 多	○	○変容が見れる
8		じ 多		○
9		じ 多		
10		じ 多		○いじめとの関連
11		じ 多	○	
12		じ 多		
13		じ 多	○	○自分と重なって
14		じ 多	○	○自分と重なって

児童の評価表の一部

(じ：自分のこととして 多：多面的・多角的な考え)



3つの出会いの工夫が効果的であったかどうかを参観者の視点で評価してもらう「ふり返しシート」と自己評価するための「自己評価表」をつけます。そして、授業改善につなげます。



児童の評価表を作成し、「多面的・多角的な見方を発展させているか」「自分との関わりで深めているか」という視点で、ノートや板書を見直ししながら、記録をつけます。

視点 3

学びを支える基盤づくり

9年間の学びをつなぐために、併設する玉陵中学校と連携して学習過程の工夫と学習の基盤づくりに取り組んでいます。

右に示している「ぎ・よく・りょ・う」学習過程や各教室に掲示している「授業の心得」（学習規律の共通目標）を共通実践事項として取り組んでいます。

特に、「ぎ・よく・りよ・う」学習過程については各教科等の特質を考慮しながら、全ての教科等で実践につないでいます。



学習過程		
導入	ぎ	つかむ／見通す
	今日のめあて	・課題把握 ・解決の見通し
展開	よく	考える
	よく考えよう	・自力解決
	りよ	ふかめる
	量と質を高めよう	・協働解決
整理	う	まとめる
	ううん、 なるほど	・めあてに対するまとめ ふり返る ・理解や感想

9年間の学びをつなぐ 小中連携の取組

内容項目毎に指導計画を立て、小学校に入学してから、中学校を卒業するまでの指導内容を明らかにしています。



9年間のゴールの設定「道徳科」

内容項目C小学校(規則の尊重)・中学校(遵法精神、公德心) 玉陵中学校区指導計画

他領域等との関わり		指導内容	※課題となる領域分野等を記入
充実・発展期	中学3年 人権学習 進路学習 学級活動 等	(10) 法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。	新しい自分に 出会う
	中学2年 人権学習 生徒総会 学級活動 修学旅行 等	「二通の手紙」(10月) 「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン」(12月) 「美しい鳥取砂丘」(6月) 「オーストリアのマス川」(12月) ・規律ある社会の実現に努める態度 ・義務を果たそうとする態度 ・きまりを遵守しようとする判断力 ・よりよい社会を作ろうとする実践意欲 ・自他の権利を重んじる自覚と判断力 等	
習熟・接続期	中学1年 人権学習 生徒総会 学級活動 等	「ふれあい直売所」(5月) 「使っても大丈夫?」(1月)	友達の考え・ 新しい自分に 出会う
	小学6年 社会科 学級活動 等	(12) 法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切に、義務を果たすこと。 「クラスのきまり」(6月) 「税金ってだれのため?」(2月) ・義務を果たそうとする心情 ・社会の一員として義務を果たそうとする心情 ・進んできまりを守ろうとする態度 ・自らの義務を果たしていこうとする心情 等	
	小学5年 学級活動 等	「通学路」(9月) 「住みよいマンション」(2月)	
基礎・基本期	小学4年 国語科 学級活動 等	(11) 約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。 「雨のバスでいりゅう所で」(7月) 「電灯記念ひ」(2月)【熊本の心】 ・きまりを守って行動しようとする態度 ・公德を大切にしようとする心情 ・約束を守ろうとする心情 ・公共のために進んで行動しようとする実践意欲 ・みんなで使う場所をきれいにしておこうとする意欲 等	教材・友達の 考えに出会う
	小学3年 学級活動 等	「ちゃんと使えたのに」(5月) 「みんなのわき水」(11月) 「ジュースのあきかん」(1月)	
	小学2年 学校行事 生活科 等	(10) 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。 「ぬぎすてたぞうり」(9月)【熊本の心】 「きまりのない学校」(11月) 「おじさんからの手紙」(10月) ・物を大事に使う態度 ・約束やきまりを守ろうとする態度 ・身近なきまりを進んで守ろうとする態度 ・進んできまりを守ろうとする態度 等	
	小学1年 体育科 学級活動 等	「どうしてかな」(9月) 「おおひとやま」(11月)	

学校教育目標

故郷を愛し、未来を切り拓く力を備えた児童生徒の育成

「9年間の学びをつなぐ」とは

中学校までの系統性や連続性を重視して授業をつくっていくこと

「自己の生き方についての考えを深める」とは

道徳的価値の理解を自分との関わりで考えたり、生き方に生かすための思いや願いを深めたりすること

研究主題

9年間の学びをつなぐ教育の創造

～自己の生き方についての考えを深める道徳科の授業の工夫～

仮説1

授業づくり

3つの出会いを大切にした授業づくりを行えば、自己の生き方についての考えを深めることができるであろう。

視点1

3つの出会いを大切に
した授業づくり

- ①「教材との出会い」の工夫
- ②「友達の多様な考えとの出会い」の工夫
- ③「新たな自分との出会い」の工夫

仮説2

評価の在り方

授業に対する評価と児童に対する評価を適切に行えば、自己の生き方についての考えを深めることができるであろう。

視点2

適切な評価の工夫

- 授業に対する評価「ふり返しシート」と「自己評価表」の活用
- 児童に対する評価「児童の評価表」の活用

仮説3

学習過程・学習規律

学びを支える基盤をつくり、共通理解・共通実践をしていけば、学習活動をより充実させることができるであろう。

視点3

学びを支える
基盤づくり

- 学習過程
- 学習規律等の基盤づくり
- 生活や体験活動との関わりの工夫

学校・家庭・地域の連携

成 果

- 授業づくりのポイントを示した「秘伝の書」を活用することによって、以下のような成果が見られた。
 - ・ 内容項目に対する教師の理解が深まった。
 - ・ 本時の学習で「気付かせたい、考えさせたい」というねらいを設定するには、児童の学習経験や課題を明らかにする必要があり、日頃からしっかりと児童の様子を見つめるようになった。
 - ・ 内容項目を理解し、児童の実態を把握した上で目指す児童の姿を決めることにより、筋の通った学習を展開することができるようになった。
- 評価表を活用していくことで、児童の実態や思いが分かってきた。また、求める姿や目指す姿が明らかになり、指導の充実と学習の深まりへつながることができた。

課 題

- 評価表を作成し、取り組んできたが、適切な見取りをしていくために、学級間・学年間で共有し、学校全体の取組としていく必要がある。

今後の方向性

- 道徳教育を進める上での素地として、本音を出し合える仲間づくりを目指した学級経営の更なる充実を図っていく必要がある。
- 玉陵中学校の校内研究でも道徳教育を取り扱い、互いに研鑽し合っている。道徳教育を中心に据えて9年間の学びにつなげていくことが大切である。

お わ り に

山々の木々が美しく華やかな季節となりました。このような時期に、平成30・31年度（2019年度）文部科学省指定 道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業及び熊本県教育委員会・玉名市教育委員会指定道徳教育研究推進校事業の研究発表会を開催できましたことを心から感謝申し上げます。

本校の研究も「特別の教科 道徳」を中心に取り組み始めて本年度が2年目となりました。この間、私たちは、3つの出会いを大切にした授業づくりを行い、児童の自己の生き方についての考えを深める授業実践に取り組んでまいりました。児童は、道徳的価値の理解を自分との関わりで考えたり、生き方に生

かすため思いや願いを深めたりすることが少しずつではありますができるようになってきました。

私たちの取組もまだまだ日が浅く、課題も多く残っています。本日、ご指導いただきました浅見哲也文部科学省教科調査官をはじめ、熊本県教育委員会、玉名教育事務所、玉名市教育委員会、助言者の先生方、ご参会いただきました皆様方からのご指導・ご助言を真摯に受け止め、今後ますます研究に邁進していきたいと思っております。本日は、誠にありがとうございました。

玉名市立玉陵小学校 教頭 荒平 憲司

参考文献

「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」
「道徳科Q&Aハンドブック 編著者（加藤宣行他）」

【文部科学省】
【日本教育新聞社】

研究同人

岡村 千鶴	荒平 憲司	磯谷 和浩	殿崎 文夫	多田隈幸代	村上 司
松尾 佳代	唐津 貴子	多久 好美	田畑 恵子	前田 美幸	林野 幸子
田中 潔	福田 友子	鹿井 里美	高松 美穂	矢野 弘美	松村妃里子
井出さくら	高森 光宏	岩下みゆき	高田 葵	島本 静香	末吉 智章
濱地 幸	松尾 美保	野中 陽子	田上 幸裕	實淵 杏奈	古川 京子
吉武 裕美	菊川 智子				